

平成21年度 日南振徳商業高等学校 学校評価

教育目標 教育法規ならびに県教育基本方針にもとづき、確かな力を基盤とした感動と感性の教育を推進することにより、宮崎の教育創造プランの具現化を図る。そのことから生涯学習の基礎を養い、勤労と責任を重んずる健全な産業人として、郷土ならびに国家社会の発展に貢献しうる有為な人材の育成に努める。 このため、各教科および特別活動等の教育活動を通じ、自己教育力を育成し、健康増進と生命尊重の精神を養うことにより、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成を図り、個性豊かな人間性の育成に努める。				〔学校関係者評価のポイント〕 <ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。 	
経営方針 校訓「健康 誠実 友情 情熱」 振徳商スローガン「挨拶の振徳 風紀の振徳 美化の振徳」 ○目指す学校像＝「生徒一人ひとりを鍛え、育てる学校」 目指す教師像＝「生徒に厳しく、寄り添える教師」 目指す生徒像＝「自分の天分・個性を振りおこし、勉学にスポーツに精励努力する人間」 ○『振徳商の教育』の重点化 → 「生きる力」を育むことを基本として、①「頭」を鍛え、伸ばす ②「心」を鍛え、育む ③「体」を鍛え、伸ばす 教育を行う。					
本年度の重点目標 ①「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） ②「心」を鍛え、育む（心の教育の推進と充実） ③「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化） ④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実					
重点目標	評価項目	具体的方策 又は 具体的指標	自己 評価	学校 関係者 評価	
				成果及び改善策	評価・具体的意見
①「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現）	授業研修	授業研究に励み、工夫改善に努め、確かな学力を身につけさせる。	A	全体テーマに「わかる授業、わかりやすい授業」と「自宅学習とリンクした授業展開」を設定し、すべての先生が公開授業を実施した。昨年度の取り組みにプラスし、各授業の見どころを一覧にして配布することにより、班員以外の参観があった。他教科の授業参観や教材研究による授業の活性化が図られた。また、「自宅学習とリンクした授業展開」については、引き続き来年度のメインテーマとする。	<ul style="list-style-type: none"> 良かったと思います。 成果が楽しみです。 先生同士で授業参観することにより、長所・短所を見極め、自己の研修に努める事ができる。人の目ほど厳しいものはないと思います。 すべての先生が公開授業を実施され、互いの教科の研修が高められている。自宅学習とリンクした授業展開で確実に学力が身につけているように見られる。 先生方のスキルアップの為に今後も継続して頂きたい。 創意工夫した諸先生方の授業への取り組みは素晴らしいことだと思います。
	専門教育の充実	専門教育を充実させ、ビジネス教育の推進を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> TT指導により生徒の理解度や個性に応じた細かい指導ができた。4つの専門力育成班【商業科職員】をつくり教科力の向上を図った。 研究授業等に授業改善やビジネス教育の一環としての挨拶、礼法の指導の徹底ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> これから先、社会において一番大切な教科だと思えます。その点については、分かりやすい授業をされ、生徒達も興味を持って取り組んでいます。 更なる資格取得率更新に繋がるのではないかと。 成績が物語っていると思います。大変素晴らしいです。 TT指導や専門力育成班により、専門教育の充実が図られている。挨拶や礼法の指導の徹底さは素晴らしいと感じる。 今後も更なる専門教育の充実を期待したい。
	資格取得の推進	資格取得を推進し、達成感・成就感を与えることで学ぶ意欲を喚起し、資格を活用した進路指導の充実を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> 県商簿記検定1級合格 80名(合格率74%) 県全体36% 情報国家試験(ITパスポート)合格者9名 日商2級簿記検定 合格者11名 なお、情報処理、ワープロ検定も合格者、合格率とも県のトップクラスである。検定試験への指導体制が整っている。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な検定の資格取得については、県・全国でもトップレベルだと思います。是非、来年度も継続して頂きたい。 目標設定をする事により、より方向性の位置づけを決めて行動することができる。 資格取得の推進が熱心に行われており、合格者・合格率とも県のトップクラスという成績は素晴らしい。 生徒の将来の為に資格取得は重要項目であり、今後も取得率向上に期待します。
	進路指導実現	進路目標の早期設定を促し、希望進路の達成を図る。	B	就職・公務員課外、面接指導、企業見学、小論文の指導を実施した。 12月末現在では、進路全体の内定率は75%であったが、その後、就職未決定者一人ひとりにきめ細かい指導を行なったことで、全員の進路実現を果たした。	<ul style="list-style-type: none"> 大変厳しい年ではありましたが、よく努力されていると思います。専門的な学習を活かし、進学も増やされたらどうでしょうか。 現状は厳しいですが、何らかの進路が見つかるように指導を続けて頂きたい。 自分自身が一生懸命頑張っても受皿がないことには・・・ 進路目標の早期設定は、大切であると実感する。希望進路の達成が望ましいが、現実社会の実情は厳しく、指導も難しいと感じる。 社会情勢もあり、12月時点での内定率が今年に限り低いのはやむを得ないが、最終的には全員進路実現できたことは評価できる。 雇用状況の厳しい中、12月時点で内定率が7割を越えているのは評価できることだと思います。その後、進路未決定者への指導の結果、全員の進路が決まったことは評価できると思います。
	キャリア教育の推進	職業観・勤労観を育む教育に取り組み、進路意識の高揚を図るために、キャリア教育の推進を図る。	B	キャリア教育通信、3年生向けの外部招へい事業を実施した。2年生向けには、職業選択について大切なことは何かなどを中心にキャリア教育ガイダンスを実施した。3学期は、2年生の保護者、生徒を対象に進路ガイダンスを計画中である。	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も実施して下さい。 早期からの取り組みは、生徒に意識づけさせ、自分の進路に向かって準備できるので、大変良い事だと思う。 職業観・勤労観を育んだり、職業選択の大切さを学ぶことは、重要な事であり、今後さらにより良い方向へと導いてもらいたいと思う。 実社会でのギャップを考えると非常に効果ある取り組みであり、今後も推進されたい。 職業観・勤労観を身につけさせ、個々の進みべき道の見極め等の取り組みを引き続きお願いします。
②「心」を鍛え、育む（心の教育の推進と充実）	学校スローガンの実践	「挨拶・風紀・美化の振徳」のスローガンの実践指導を通して、生徒の基本的な生活態度の確立を図り、自主性・自立性の育成に努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の指導強化を打ち出してから、校内には以前のような活気ある挨拶が戻ってきた。 風紀面に関しては、茶髪やマユの状況がたいへん良くなってきており、正しい容儀が普通にできる生徒が一層増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の挨拶運動に時々立ち会ったが、まだ、元気がないと思います。語尾までしっかりと相手に聞こえるように笑顔で挨拶して欲しい。 引き続き指導して欲しい。 生徒・卒業生をみれば理解できます。 生徒の自主性・自立性の確立がなされ、活気ある挨拶や正しい容儀が身につけてきたのではと感じる。良い指導がなされている。 引き続き重点的に継続指導願います。 挨拶等の規律はよく指導されており、評価されるものです。社会生活の強みでもあり、引き続き徹底した指導をお願いします。 風紀面では素晴らしい生徒が多く、感心させられます。
	リーダー育成	学校行事やホームルーム活動等を通してスクールリーダーの育成に努める。	B	各種行事や部活動における指導では、上級生がリーダーシップを十分に発揮しているが、2年生ではクラス活動等においては自主性に欠ける面が見られた。	<ul style="list-style-type: none"> 振徳祭での評価しかできませんが、しっかり発揮できていると思います。次年度が心配です。 生徒間のコミュニケーションがしっかり取れています。 1年生がいなくて、2年生は下級生に見せていく態度がなかなか見出せなかったのではと感じられる。 全ての生徒がリーダーシップを発揮できるよう、さらに指導の継続を実施願います。 次年度、下級生がいなくて、リーダー育成の方策が必要だ。 上級生のリーダーシップが発揮されており、感動しました。

②「心」を鍛え、育む(心の教育の推進と充実)	豊かな心の育成	心の教育の充実。読書や体験活動を通して豊かな心の育成に努める。	A	人権学習を1学期にクラス別で実施。2学期は蔵坪先生(宮崎公立大非常勤講師)による人権学習教室を実施。演題は「かけがえのない私、大切なあなた」。生徒の心情に強く訴えかける講話で、感想にそれが顕著にあらわれるものであった。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も実施してもらいたい。 ・ 現在の教育にとって難しいものではあるが、若いうちによりしっかり体感して頂きたい。 ・ 豊かな心の育成ということで、人の話を聞いて深く感銘を受けたり、気持ちが変わったりするので、良い取り組みがなされている。 ・ メンタルヘルス面が重要視されており、良い取り組みである。 ・ 健康教育には講習や講話等行っており良いと思うが、「心の病気」に対する認識を深めることも必要不可欠であり、その取り組みをお願いします。 ・ このような講演は、どんどん行って欲しいです。
	人間関係作り	惻隱(思いやり)の心や情緒力を育成し、豊かな人間関係の醸成に努める。	B	いじめに関するアンケートと教育相談を例年通り年4回ずつ実施している。5月のアンケートで見つかったトラブルは関係保護者を含めて検討し、現在は完全に解決している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達・クラス・部活動に関する軽いトラブルも色々耳にしましたが、全体的には良かった。 ・ また、いつ起こるか分からないので、日頃の察知が必要でしょう。 ・ いじめられる側の気持ちになって、物事を見ることの大切さを学んで欲しい。 ・ いじめに関するアンケートは、よく実施されているようだが、分からない部分もあることだと思うので、一人一人の思いやりの心や豊かな人間関係作りは、慎重に行ってもらえることを望みたい。 ・ 実社会で、一番悩む課題の一つであり、人間関係のうまいとり方を教示してあげてください。 ・ いじめアンケートによる早めの問題解決はとてもすばらしいです。
③「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と部活動の活性化)	健康教育の推進	心身の健康教育や安全管理の充実を図る。	B	健康診断の効果的な実施と事後指導の徹底を図るように努めている。7月には心肺蘇生法講習、9月には健康教育講話「学校生活に打ち勝つ栄養学」を10月には薬物乱用防止教室を実施した。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良かったと思います。 ・ 薬物乱用防止教室を実施された事は、社会的にも今大きく騒がれている中、現状を知る上でも良い取り組みだと思う。 ・ すべての起因は心身の健康からです。 ・ 3回の講習や講話が取り入れられているが、その成果がどうか? すばらしい内容の取り組みだと感じられるので、是非深めてもらいたい。 ・ 9月の健康教育講話後、自宅の食事において積極的に野菜を食べてくれるようになりました。
	部活動の活性化	部活動の加入率の向上に努め、部活動を通して自己の鍛錬と個性の伸長を図り、リーダーの育成に取り組むとともに豊かな人間関係を育む。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動加入率 91% (2年生のみ 98%) である。 ・ 全国大会(簿記部:個人、珠算部)九州大会(陸上部、テニス部、ワープロ部、珠算部)に出場した。 ・ キャプテン会議を実施することにより活動状況の把握ができ、施設利用状況も良くなっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数が減った中、よく指導されていると思いますが、生徒が挫折した時のケアを考えて頂きたい。また、来年度も他校と合同チームができればと思います。本校ペースで活動をして欲しい。 ・ 部活動生の人数もそろわない状況とは思いますが、最後まで頑張ってもらいたい。 ・ 集団の一員により、他人への思いやり、人間関係の重みを学べる唯一の方法であると思います。 ・ 部活動加入率はすばらしい。全国大会・九州大会にも出場する部もあり、輝かしいことで、今後の期待へと繋がる。キャプテン会議の在り方も良い結果が出ているように感じる。 ・ 生徒数の減少による停滞が危惧されるが、今後も少数精鋭の精神で頑張ってもらいたい。 ・ 100%に近い部活動の加入率はすばらしい。たくさんの大会出場を期待します。
④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実	学校組織マネジメント	学校組織マネジメント(PDC A)の導入	A	学期毎に提出される主任を中心とした各部・学科・学年のマネジメントサイクルをチェックしながら、各学期の方向性に活用している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく研究されています。 ・ 様々な方法を取られてみた方が良いと思います。 ・ 主任の先生が中心となり、各部・学科・学年がそれぞれの各学期の方向性を目指し、よく活用されている。
	協働性	教職員の協働性(同僚性)の確立	B	研修等を実施していく中で、積極的に意見等が出されるように各担当責任者が工夫をしている。また、原案等を提出する際、関係機関と事前に内容を検討した事項が提出されるようになった。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々工夫されています。 ・ 会議等にすり合わせは必要不可欠、時間のロスを省き、効率よく進行できます。 ・ 先生方の協働性は、さらに深められることを望みたい。 ・ 教職員間のコミュニケーションは大変重要と思われます。今後も協働意識の高揚に努めて下さい。 ・ 諸先生方の方向性が共有されることで、生徒への指導が統一的なものになり、すばらしい教育に成り立っていると思います。
	再編整備	2年後の閉校に向けた計画的な準備。「振徳商プロジェクト」、「閉校行事等実行委員会」の設置	A	振徳商プロジェクト委員会においては、学校行事等の検討を随時実施している。また、閉校行事等実行委員会においては、学校・同窓会・PTA等を中心として閉校式までの活動等について協議を進めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に同窓会を中心に活動されているようですが、来年度も多少メンバーが変わりますので、しっかりと引継ぎをしておくことが大事だと思います。 ・ 大変すばらしいことだと思います。 ・ 学校行事もよく検討し、行われているし、閉校に向けての取り組みも着実に進められているようだ。 ・ 閉校の時までよろしくお祈りします。

※ A:十分達成

B:概ね達成

C:検討の余地あり

D:不十分